

2019 年度

中国留学報告書

実習先：北京師範大学

実習期間：8月26日～12月28日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018037
近藤祈

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	研修日誌	8
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：北京師範大学

研修期間：令和元年 8 月 26 日～令和元年 12 月 28 日

2 研修先概要

(1)大学について

北京師範大学は、北京という都市に位置する。北京は人口が 2000 万人以上で、中国の経済に大きな影響を与える都市の一つである。100 年以上の歴史があり、およそ 2 万人弱の学生が学んでいる、非常に大きな大学である。北京大学、清華大学、北京人民大学とならぶ北京 4 大学に属しており、中国の中ではかなり有名な大学だ。

(2)大学で行われている教育について

北京師範大学は、質の高い教育を行っていることと、多くの留学生を受け入れていることに特徴がある。1 クラスにたくさんの国籍の人が配属されており、充実した環境の中で学習を行うことができる。初級者から上級者までクラス分けされており、中国語が苦手な学生も基礎からしっかり学習することができる。

大学には、1 週間ほど遠くの地方へ行き言語や文化を学ぶ研修があり、本学の学生は必ず参加しなければならない。今年度は黄山に行き、北京とはまた違う景色や雰囲気を味わうことが出来た。

3 研修目的

今回の研修の目的は、中国語の能力を上げることが第一の目的である。中国は著しい経済発展を遂げており、今後日本の経済にも大きな影響を及ぼすだろう。それに比例し、中国語の需要も上がり、HSK や中検の需要も上がっている。それを受け、今回の留学では HSK4 級取得を目標としている。

また、第二の目的は外国人とのコミュニケーションである。母国語が通じない状況で中国語や英語を用いて交流することはとても力になるし、日本には絶対にできない貴重な経験になる。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

8月	26日	到着、入寮
	27~1日	諸々の手続き、クラス分けテスト
9月	2日	授業開始
	14日	中日交流会
10月	3~5日	内モンゴル旅行
	31~1日	期中考試
11月	3~9日	文化考察
12月	23,24日	期末考試
	28日	帰国

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

① 授業開始前の手続き

中国に到着してまず入寮の手続きを行い、ルームキーと部屋を借りる。翌日、学校内にある携帯会社に行き、中国で使用するスマートフォンとSIMカードを購入する。それと同時に進行で学校すぐ近くの銀行で口座を開設する。現在中国ではスマホ決済が主流のため、スマートフォンと紐づけられる口座が必要である。

その後大学に入学手続きをして、クラス分けテストを行う。筆記・リスニング・口頭の三種類からなり、すべて中国語だ。我々は101班に10名、102班に1名配属された。

② 授業開始

北京師範大学での授業は聴力・読写・会話がある。聴力の授業はCDを聞き問題に答え、読写の授業は長文を読み文法と単語の意味を理解し、会話は先生や生徒同士で会話してより実用的な中国語を学ぶ、というものだ。

国情生はひとつのクラスにまとまるということはなく、満遍なく振り分けられる。イギリス人、スペイン人、韓国人など様々な国から来た留学生と一緒に授業を受ける。

さらに国情生には中華才芸という、中国の伝統的な芸術を体験するという授業がある。今年は習字・切り絵・太極拳・茶道を学んだ。

③ 中日交流会

北京師範大学本科生の日本語学科の学生と国際情報大学の学生と交流する。この日のために私たちは準備をし、出し物をする必要がある。彼らの日本語はとても流暢で、意思疎通は容易に行えた。Wechatを交換することもできた。

④ 国慶節・内モンゴル旅行

中国では10月1日～7日は国慶節で学校は休みである。希望者は内モンゴル旅行に参加することができる。参加費はおよそ1000元。今年は11人中7人が参加した。内モンゴル旅行では、モンゴルの文化や景色を堪能することができるため、非常に貴重な体験となるだろう。

⑤ 期中考試

いわゆる中間試験で3つの科目のテストがある。6割以上で単位取得が可能となる。

⑥ 文化考察

北京師範大学が主催する研修で、地方の文化や言語を学習する。これは全員強制参加で、費用はおよそ1000元。今年は寝台列車に15時間乗って安徽省に行き、水墨画の歴史を体感し、黄山に登山した。非常に長い旅だが、クラスの外国人と親交を深める良い機会となった。

⑦ 期末考試

期末試験。修了できるかどうかが決まる大事な試験である。

⑧ HSK

今年の留学生は皆中国でHSKを受験した。11月と12月に受けられる機会があるため、2回受験することも可能だ。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

① 中国語能力の上達

最初の授業では中国語を一切聞き取ることができず、先生から質問されても何も答えることが出来なかった。しかし、毎日予習復習を欠かさず積極的に中国語と触れることでだんだん聞き取れるようになり、12月ごろには先生が話すことの大半が聞き取れるようになる。よって、この目標は達成したといえるだろう。

② HSKの取得

今年の留学生は、積極的に現地でHSKを受験した。ほとんどの学生はHSK4級を取得することが出来た。

③ 外国人とのコミュニケーション

クラスメートやルームメイト、アジア人やヨーロッパ人など多種多様な人々との交流が多かった。今年の留学生は日本人以外とも積極的に交流する人が多く、グローバルな人間関係を築くことができた。

6 反省・課題

4ヶ月という期間は、最初は長いように感じたが、過ごしてみると本当にあつという間で、有意義な時間になった。

今回の研修で学んだことを今回きりで終わりにせず、これからも中国語についての勉強を続けていき、**HSK5** 級取得を今後の目標にしたい。今回の留学で感じたことを決して忘れずにこれからは生かしていきたい。

謝辞

今回、北京師範大学にて懇切丁寧な指導をしてくださった先生方、お世話をして下さった羅小姐、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の中国留学担当で2019年度前期の授業、中国での現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、佐藤若菜先生、區建英先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本セミナー参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

8月26日
新潟空港→成田空港→北京首都空港
内容 ・新潟空港に集合、成田行の飛行機に搭乗 ・成田発北京首都空港着の飛行機に搭乗 ・北京師範大学新松公寓に入寮

移動の所感

ミスをしないよう細心の注意を払いながら団体で行動するように心掛けた。ここから4か月の間日本に戻れないという不安もあったが、中国でのこれからの生活に対する期待の方が大きい。

8月27日～9月1日
手続き、クラス分けテスト
内容 ・スマートフォン、SIMカードの購入 ・銀行口座開設 ・入学手続き ・クラス分けテスト

内容及び所感

クラス分けテストの難易度は非常に高く、良い結果を出すことが出来なかった。諸々の手続きは若菜先生のおかげで大変スムーズに執り行われた。

9月2日
授業開始
内容 ・月～木は2コマ、金曜は1コマ ・听力・会話・读写の3科目 ・クラスで簡単な自己紹介

内容及び所感

一日のコマ数が少ないので予習復習の時間をゆっくり取ることができる。また、午後が授業のない日は観光地に出かけるなど、有意義に時間を使った。

9月14日
中日交流会
・本科生日本語学科の方々の出し物(世界に一つだけの花合唱) ・国情生の出し物(クイズ、折り紙)

内容及び所感

中国人の方々と交流する良い機会だ。日本語学科の生徒は積極的に日本語を使って話してくれるので、良い刺激になった。

10月3~5日
内モンゴル旅行
・草原で騎馬、ゲルに宿泊しキャンプファイヤーする ・砂漠に行きラクダに乗る ・博物館に行く

内容及び所感

1000元という安い金額で、3日間のあいだモンゴルの大自然と文化を味わえるツアー。草原・砂漠・モンゴルの都市部という3つの絶景を一度に堪能することができる。

10月3~9日
安徽文化考察
・寝台列車で夜を明かす ・水墨画にまつわる道具の作成工程を見学 ・黄山に登山 ・伝統的な建造物を見学

内容及び所感

寝台列車で北京から15時間かけて安徽に到着した。安徽は水墨画で有名な地方であり、

町のいたるところに和紙や硯や墨を作る工場がある。北京とはまた違った風景だ。

画像

学校の風景



黄山



内モンゴル

